

中ア宝剣・木曾駒

【報告者】Y川

【日時】2018年9月28日

【天候】快晴 稜線は10時頃から雲が発生

【参加者】Y川・M原

費用(参考)

・レンタカー(24時間)	5200円
・ガソリン	900円
・高速道路(帰りのみ)	1650円
・ロープウェイとバス(往復)	3900円
1人当たり約7800円	

《コースタイム》

4:45 起床(御座松キャンプ場) 5:45 菅の台バス停 6:30 バス出発 7:30 登山開始(千畳敷 RW 駅)
7:50 極楽平 8:30 宝剣岳 9:30 木曾駒ヶ岳 10:15 登山終了(千畳敷 RW 駅) 11:20 菅の台バス停
13:00 駒ヶ根 IC 発 14:00 ジャパンレンタカー(松本平田)着

《報告》

(M原氏の槍ヶ岳山行報告書からのつづき)

北ア槍ヶ岳山行の予備日とした28日が快晴であったことから、中アに寄り道することを決めたのであった。レンタカーの配車、所要時間、キャンプ場、ロープウェイ、天気、温泉、カツ丼屋など、全てのパーツがうまく組み上がり、最高の山行に仕上がった。

9月28日4:45に起床する。本当は5時起床予定だったが、少し早く起きた。朝食は菅の台でバスを待つ間に摂れば良いと考え、テントを撤収し、御座松キャンプ場を後にする。

今日は、しらび平駅(1662m)からロープウェイを利用して千畳敷駅(2612m)まで高度を上げ、宝剣岳(2931m)と木曾駒ヶ岳(2956m)を周遊し、ロープウェイで下るプランである。

自家用車は途中の菅の台(850m)までしか入ることができない。我々は菅の台駐車場に車を止め、そこからしらび平駅まではバスを使うのだが、平日なのにかかなりの混雑である。出発準備を完了させ、Y川はチケット購入列へ、M原氏はバス乗車列へと散開する。始発バスは6:15であったが、臨時バスを出してくれたので、6:30のバスに乗ることができた。しらび平駅までは狭いくねくね道を30分である。

ロープウェイも臨時便を出していたので、5分ほどの待ち時間で乗ることができた。車窓からは太田切川中御所谷上流部の紅葉が見て取れる。背後の南アの山並み・駒ヶ根市街の景色も素晴らしい。



菅の台駐車場のバス待ち行列



宝剣岳

極楽平への登りにて

千畳敷 RW 駅



極楽平から北側の眺望

宝剣岳

木曾駒ヶ岳

乗鞍岳

千畳敷駅からは混雑を回避するために、先に極楽平から宝剣岳を目指すことにする。二人とも気分が高揚し、ハイペースで稜線まで駆け上がる。極楽平は中ア主稜線上のポイントで、南に行けば檜尾岳・空木岳(百名山)・南駒ヶ岳・越百山・恵那山(百名山)へと続く。我々のいる駒ヶ岳山群は中アの北部なので、ここから南が長い。

我々は北に向かう。ここから宝剣山荘までは鎖場連続の岩稜帯である。本来は西穂から槍の縦走をやりたいただけに、短いながらも爽快な岩稜歩きを楽しめたことはラッキーであった。

宝剣岳の真の山頂へは、ちょっとした岩を登らなければならない。1人分の土地しかないので、交代で登って写真を撮る。極楽平から宝剣岳の区間はバリエーションルートと見なされているようで、ほとんどの登山者は宝剣山荘からのピストンを行うようである。しかし、鎖場がしっかり整備されているので、難しめの一般登山道というカテゴリーに入るであろう。

次は木曾駒ヶ岳に登るが、こちらは打って変わってなだらかなピークである。小さな子供連れにも踏破可能なピークで、筆者も4歳児のときに訪れているらしい。「あそこに登れば北アが一望できるはずだ」と、宝剣岳に登っても気分の高揚が治まらない我々は、依然ハイペースのまま木曾駒へ駆ける。

木曾駒山頂からは昨日までいた槍ヶ岳をはじめとする穂高連峰がしっかり見える。ただ、その他の山域は雲がかかり始めていて、はっきりとは見えない。写真を一通り取り終えたら、下山を開始する。なるべく混雑には巻き込まれたくないのだ。

下山中に見上げる千畳敷カールは圧巻である。千畳敷駅の近くには剣ヶ池という池がある。薄氷が張っているが、風のない日は逆さ宝剣が見えるに違いない。

千畳敷駅で土産物を物色し、ロープウェイとバスをスムーズに乗り継いで菅の台駐車場まで戻る。駐車場の近くにあるこまくさの湯に寄るが、露天風呂からは中ア主稜線を眺めることができる。爽やかな風も気持ちよく、長湯したくなる。昼食にはこまくさの湯の近くにある明治亭で駒ヶ根名物ソースカツ丼を頂く。13時に駒ヶ根を出発し、帰りは高速を使って、14時には車を返却できた。塩尻から15時過ぎの特急に乗って、博多に20時半に到着した。

本山行は短いながらもとても充実していた。急な提案を快諾してくれたM原氏、運営委員会の皆様に感謝いたします。

